



2024年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年2月14日

上場会社名 株式会社アミファ 上場取引所 東
コード番号 7800 URL <https://www.amifa.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 藤井愉三
問合せ先責任者（役職名） 執行役員経理部長（氏名） 川上康夫（TEL）03（6432）9500
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2024年9月期第1四半期の業績（2023年10月1日～2023年12月31日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第1四半期	2,592	2.5	73	△53.2	76	△58.3	52	△53.9
2023年9月期第1四半期	2,529	47.3	157	△22.9	183	△9.9	114	△9.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第1四半期	17.57	—
2023年9月期第1四半期	35.33	—

四半期経営成績に関する注記

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第1四半期	4,752	2,299	48.4
2023年9月期	4,409	2,392	54.3

（参考）自己資本 2024年9月期第1四半期 2,299百万円 2023年9月期 2,392百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2024年9月期	—	—	—	—	—
2024年9月期（予想）	—	0.00	—	24.00	24.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,275	14.1	240	32.2	235	15.9	154	4.5	51.09

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年9月期1Q	3,235,000株	2023年9月期	3,235,000株
② 期末自己株式数	2024年9月期1Q	216,415株	2023年9月期	240,049株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年9月期1Q	3,001,116株	2023年9月期1Q	3,234,951株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(第1四半期累計期間)	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)におけるわが国経済は、インバウンド需要を含め個人消費需要の回復、金融緩和の継続、株式市況の活況など緩やかな持ち直しの動きがみられたものの、海外経済の減速への不安、人手不足や人件費上昇、エネルギー価格や原材料価格の高騰も続いており、先行き不透明な状況で推移いたしました。

こうした環境下、当社は、クリスマス等のイベントを始めとして、新企画、新商品の提案に積極的に取り組み、主要顧客である100円ショップ各社に向けてライフスタイル雑貨の販売に注力し、一部出荷が第2四半期にずれたものの、前年同期を上回る販売となりました。一方、損益につきましては、商品内容変更などを含む個別商品ごとの採算性を重視した販売に努めましたが、円安の影響、出荷ズレ、物流量増加による出荷・倉庫関連費用の増加、労務関係費用の増加もあり、減益となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の経営成績の概要は以下の通りであります。

(千円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
当第1四半期累計期間	2,592,912	73,546	76,401	52,716
前第1四半期累計期間	2,529,900	157,178	183,114	114,299
増減額	63,011	△83,632	△106,712	△61,582
増減率(%)	2.5	△53.2	△58.3	△53.9

売上高は、前年同期比63,011千円増(2.5%増)の2,592,912千円となりました。

これは、ハロウィン、クリスマスのイベント関連商品の販売が前年同期をやや上回る水準で進捗したこと、前期から引き続きキッチン用品、ライフスタイル雑貨等の販売が好調に推移したことによるものです。

なお、当第1四半期累計期間における当社のライフスタイル雑貨の商品群別累計売上高は、下表の通り、「ワンピース商品」が2,450,364千円(前年同期比4.3%増)、「プチプライス商品」が142,548千円(前年同期比21.3%減)となりました。

(千円)

	ワンピース商品	プチプライス商品	合計
当第1四半期累計期間	2,450,364	142,548	2,592,912
前第1四半期累計期間	2,348,747	181,153	2,529,900
増減額	101,616	△38,605	63,011
増減率(%)	4.3	△21.3	2.5

営業利益は、前年同期比83,632千円減(53.2%減)の73,546千円となりました。

これは、売上高の増加による増益効果に加え、採算重視の販売の取り組みも一定の成果がありましたが、物流量増加による物流関係費用の増加及び労務費の増加等が減益要因となったことによるものです。

経常利益は、前年同期比106,712千円減(58.3%減)の76,401千円となりました。

これは、営業利益の減少83,632千円があったこと、また、営業外収益において前第1四半期累計期間には為替差益26,108千円がありましたが、当第1四半期累計期間は為替差益が5,040千円と為替差益が21,067千円減少したことによるものです。

以上の結果、四半期純利益は、前年同期比61,582千円減(53.9%減)の52,716千円となりました。

なお、当社の事業は、ライフスタイル雑貨事業の単一セグメントであるため、セグメントの記載をしておりません。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期会計期間末における流動資産は4,527,230千円となり、前事業年度末に比べ287,380千円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が452,647千円増加した一方、棚卸資産が23,773千円減少、現金及び預金が85,941千円減少したことによるものです。固定資産は225,342千円となり、前事業年度末に比べ56,063千円増加いたしました。これは主に投資その他の資産が46,943千円増加したことによるものです。

この結果、総資産は、4,752,572千円となり、前事業年度末に比べ343,443千円増加いたしました。

（負債）

当第1四半期会計期間末における流動負債は2,162,896千円となり、前事業年度末に比べ434,369千円増加いたしました。これは主に短期借入金300,000千円増加、買掛金が53,640千円増加したことによるものです。固定負債は290,107千円となり、前事業年度末に比べ2,209千円増加いたしました。これは退職給付引当金が2,209千円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は、2,453,003千円となり、前事業年度末に比べ436,579千円増加いたしました。

（純資産）

当第1四半期会計期間末における純資産合計は2,299,569千円となり、前事業年度末に比べ93,135千円減少いたしました。これは主に四半期純利益52,716千円及び配当金支払71,878千円による利益剰余金19,162千円減少に加え、繰延ヘッジ損益の減少89,572千円、自己株式処分による自己株式の減少15,480千円によるものです。

この結果、自己資本比率は前事業年度末に比べて5.9ポイント減少し、48.4%となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月14日に公表いたしました業績見通しの数字につきましては、現時点で変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	876,207	790,265
受取手形及び売掛金	719,924	1,172,571
電子記録債権	3,060	15,185
棚卸資産	2,428,371	2,404,598
その他	212,285	144,608
流動資産合計	4,239,850	4,527,230
固定資産		
有形固定資産	44,200	43,602
無形固定資産	68,418	78,135
投資その他の資産	56,659	103,603
固定資産合計	169,278	225,342
資産合計	4,409,129	4,752,572
負債の部		
流動負債		
買掛金	63,590	117,230
短期借入金	1,300,000	1,600,000
未払金	285,315	330,188
未払法人税等	35,590	23,684
賞与引当金	18,044	—
その他	25,986	91,793
流動負債合計	1,728,526	2,162,896
固定負債		
退職給付引当金	33,562	35,772
役員長期未払金	254,335	254,335
固定負債合計	287,897	290,107
負債合計	2,016,424	2,453,003
純資産の部		
株主資本		
資本金	37,220	37,220
資本剰余金	273,468	273,586
利益剰余金	2,191,510	2,172,348
自己株式	△157,231	△141,751
株主資本合計	2,344,967	2,341,404
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	47,737	△41,835
評価・換算差額等合計	47,737	△41,835
純資産合計	2,392,704	2,299,569
負債純資産合計	4,409,129	4,752,572

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
売上高	2,529,900	2,592,912
売上原価	1,699,453	1,737,362
売上総利益	830,447	855,549
販売費及び一般管理費	673,268	782,003
営業利益	157,178	73,546
営業外収益		
為替差益	26,108	5,040
受取補償金	241	—
その他	87	194
営業外収益合計	26,438	5,235
営業外費用		
支払利息	450	1,938
その他	52	442
営業外費用合計	502	2,380
経常利益	183,114	76,401
税引前四半期純利益	183,114	76,401
法人税等	68,814	23,684
四半期純利益	114,299	52,716

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に見積実効税率を乗じて計算しております。